

1907年(明治40)、パリに生まれたレイモン・サヴィニャックは、第二次世界大戦後のフランスのグラフィック・デザイン界を主導し、他の国・地域のデザイナーにも大きな影響を及ぼしたポスター作家です。

サヴィニャックは、パリ地域公共交通公団(STCRP。現・パリ交通公団)の図案画工を皮切りに、広告アニメーション映画工房の広告画家、戦前期の巨匠デザイナーであるA. M. カッサンドルのアシスタントなど、さまざまな実務経験を通じてデザインを学び、自主制作のポスター原画をこつこつと描きためながら、1950年代～1960年代にフリーランスのデザイナーとして大きく羽ばたきます。1982年(昭和57)にフランス北西部のトゥルーヴィル＝シュル＝メールへ自宅・アトリエを移すまでは、パリを拠点に活動を展開し、トゥルーヴィル転居後の晩年も、創作の泉をからすことなく、2002年(平成14)、94歳の生涯をまっとうしました。

サヴィニャックの作品は、「温かいユーモアに満ちたイラストレーション」を特徴とし、原画はもちろんのこと、日本を含む世界各国の企業・公共ポスターになっても、「フランスらしいエスプリの感覚」を大切に制作態度を貫いています。よってサヴィニャックは、「フランスの国民的デザイナー」の名にふさわしい作家、としてよいでしょう。

本展覧会は、そんなサヴィニャックの長い業績と作品の魅力を、200点以上に及ぶ原画、ポスター、他の印刷物、関連資料などによって、幅広く紹介します。

※詳細は、特設サイト<http://savnac2018.jp>をご覧ください。



- | | | | | | | |
|--|---|---|---|---|---|---|
| ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | ⑥ | ⑦ |
| ①《エール・フランス航空：世界で一番広いネットワーク》1956年
パリ市フォルネー図書館蔵 | | | ②《森永ミルクチョコレート》1958年 トゥルーヴィル市ヴィラ・モンテペロ美術館蔵 | | | |
| ③《ジターヌ》1954年 パリ市フォルネー図書館蔵 | | | ④《ピック：柔らかい書き味》1956年 パリ市フォルネー図書館蔵 | | | |
| ⑤《ピック：新しいボール》原画 1960年
トゥルーヴィル市ヴィラ・モンテペロ美術館蔵 | | | ⑥《ポスターのあるパリ風景》1954年 木村・田沼コレクション | | | |
| ⑦《ルノー4》1963年 ティエリー・ドゥヴァンク・コレクション | | | ①②③④⑤⑦ ©Annie Charpentier 2018 ⑥ 写真：木村伊兵衛 | | | |

サヴィニャックパリにかけたポスターの魔法

【関連事業】

- 記念講演会「ポスター作家サヴィニャック：ユーモアの足し算・引き算」
[日時] 2018年5月27日(日) 午後2時(開場：午後1時30分)～午後4時
[会場] 宇都宮美術館 講義室
[定員] 170名(先着)
※企画展チケットをお求めのうえ、会場に直接ご入場ください
[講師] 植木啓子氏(大阪新美術館建設準備室 主任学芸員)
[内容] サヴィニャックの生涯と作品の魅力を、スライド・レクチャーによって分かりやすく解説します
[問い合わせ先] 宇都宮美術館
TEL.028-643-0100(代)
- 担当学芸員によるギャラリー・トーク
[日時] 会期中毎週土曜日 午後2時～
※企画展チケットをお求めのうえ、中央ホールにお集まりください

【栃木県立美術館のご案内】

- 「国吉康雄と清水登之 ふたつの道」
2018年4月28日(土)～6月17日(日)
※詳細は栃木県立美術館にお問い合わせください。TEL.028-621-3566

【交通案内】

- JR東京駅から東北新幹線「JR宇都宮駅」下車(約50分)
→JR宇都宮駅西口5番バス乗り場から関東バス「豊郷台・帝京大学経由宇都宮美術館」行き終点下車(約25分)、またはタクシー(約20分)
- 東北自動車道「宇都宮インターチェンジ」から約10km
「鹿沼インターチェンジ」から約14km
北関東自動車道「上三川インターチェンジ」から約19km
- 無料駐車場有

※詳細は、宇都宮美術館ホームページ <http://u-moa.jp> の利用案内、交通案内をご覧ください。



〒320-0004 栃木県宇都宮市長岡町1077番地
TEL.028-643-0100[代]/FAX.028-643-0895
ホームページ・アドレス ≡ <http://u-moa.jp>

